

# 続・ふるさとを こぼれ話

## 芳志戸八景の絵馬②

第12回

塾主英陸が詠み選んだ芳志戸八景は、①鎮守杜、②五行春水、③般若塚旧跡、④秋場蛭、⑤惣郷地水鶏、⑥立街道逆木、⑦手彦子鯉、⑧学校眺望である。



①鎮守杜

字中郷に鎮座する総鎮守星宮神社(当時は村社)を詠んだものである。

森然杜木擢高台  
遠近郷中一等堆  
魏々神威仰望処  
靈光赫々上天來  
仰ぎ見る杜や  
高間の原なれば  
神いますなり〜  
清水 関口重治郎書

おおぎ見る杜は高天原なので当然のごとく神様が住んでおいでであると詠んでいる。

②五行春水  
五行川の水かさが増す春の様子を詠んだものである。

昨夜枕辺占雪  
融朝来水殖五  
行川 飛禽恣  
影潜魚躍潤  
下流行次第通  
字ららかな  
けしきにとけて  
ゆきふいて連ねて流るる春の水かな  
秋場 黒崎友之助書

春のうらかな景色にとけるように、雪どけ水がかさを増し波を連ねて流れる五行川の春の情景を詠んだものである。



①鎮守杜を書写した方は、清水の関口重治郎さんである。②五行春水を書写した方は、秋場の黒崎友之助さんである。

### 編集後記

□インフルエンザ?花粉症?この時期になると白い布で顔の大半を覆った種族が現れ始めます。□我が職場も例外ではなくそんな人種がパソコンに向かい黙々と目だけをきよろきよろしている姿は異様です。

■新1年生の写真撮影。欠席者は、残念ながら3月号への登場を断念されますが、病床からの時のためにやって来てくれた子も…。ああ、そこまで広報を愛してくれるのかくと、勝手な解釈で自己満足に浸るのでした。(クロ)



Zosterops japonica (全長11.5cm) (日本の輪のある眼をもつ鳥)

スズメよりやや小さく、黄緑色の鳥で目の周りが白い輪があるが、裸出部ではなく短く細い絹糸のような羽毛が密集している。胸から腹にかけて白く、脇に紫褐色の部分があり、くちばしは黒く細長い。

沖縄諸島や伊豆七島には亜種が生息する。食性は昆虫の幼虫や卵を食べるが、花の蜜や果実なども好む。『めじろ押し』とは、メジロの群れが枝にとまるとき、互いの体をくっつけて止まる光景を例えた。江戸時代の浮世絵などに描かれている梅鶯(うめうぐいす)は、早春に梅の枝にメジロが並んで止まっているとやぶの中からウグイスのさえずりが聞こえ、ウグイスと間違っって描かれたのでメジロの体の色をウグイス色と呼んだのはうなずける。

■編集 芳賀町広報広聴委員会  
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp  
■発行 芳賀町企画課  
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地  
■芳賀町ホームページアドレス <http://www.town.haga.tochigi.jp>  
■苦情専用フリーダイヤル ☎0120(753)898

